



地震後の建物状態を見える化



構造物監視

対象業種 建設業

分野 ビル

Before お客様の課題

避難場所として指定されている建物が、地震によるダメージを受けているかを即座に判断できず、避難が必要な人々の混乱を引き起こしていた。

After ご提案内容

施設に加速度センサーを設置し、地震発生後の建物のダメージの大きさを測定。
建物の出入口に赤(危険)・黄(要点検)・緑(安全)を表示する事で、速やかな避難が可能となり地域住民の安全を確保する事が出来る。

システムイメージ

株式会社地層科学研究所

Geo-Seismo(ジオ・サイズモ)連携事例

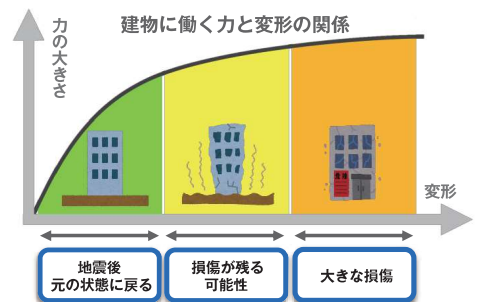
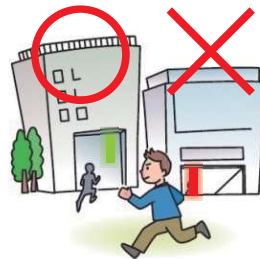


地層科学研究所

設置イメージ



サービスサイトにて判定結果の詳細を表示。
複数施設をモニタリングの場合は、リスト表示しダメージの大きさをソートが可能。



積層情報表示灯 LA6-POE シリーズ

管理事務所



A棟被害度「危険」メール検知!

さらに緊急メール発報と見える化も可能。

機器構成

- 積層情報表示灯(ネットワーク対応) LA6-POE シリーズ
- 音声対応ネットワーク制御信号灯 NHV6-3M-RYG